

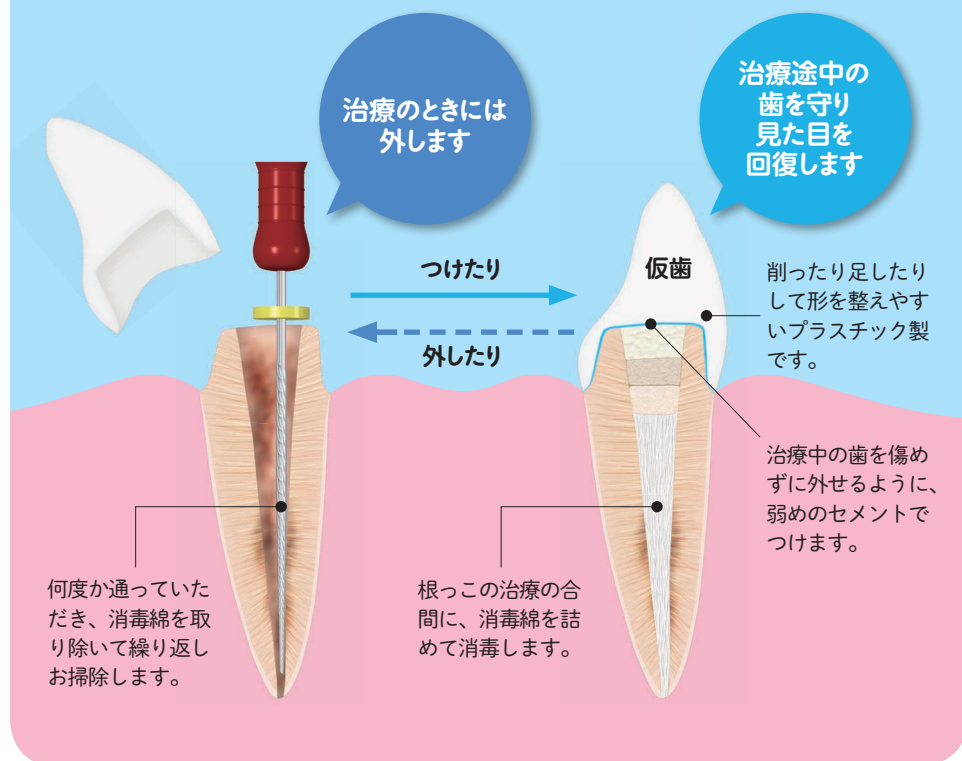
仮歯を大切に! そのわけは?



仮歯は治療中の見た目のためだけに使われているわけではありません。治療の質を支える超重要アイテムです!

【 仮歯ってこんな人工歯です。 】

治療のあいだ、つけたり外したりします。



【 仮歯の3大役割! 】

1

削った歯を細菌や刺激から守る

削って治療した歯は、手術後の傷口と同じ。仮歯は包帯のように、細菌の感染や刺激(しみる症状)から歯を守ります。

2

歯型を取ったあと歯が動かないよう固定

歯は放っておくと自然と空いた場所に動きます。もしも歯が動いて、できあがった被せ物が入らなくなってしまうので、仮歯をキッチリ入れて固定します。



仮歯がないと歯が動く!

3

「噛める状態」を維持する

治療中も噛んで食べられるようにします。噛まずにいと噛む力を感じるセンサー「歯根膜」が怠け、いざ被せ物が入ったとき、噛む力に過剰反応して「当たりすぎ!」「歯が高い!」と感じてしまいます。そこで本番に備え、仮歯を使って噛むことに慣らしておきます。

噛む力

仮歯

弱めのセメントでつけてある

キッチリ固定

噛む力のセンサー
歯根膜

仮歯との上手な付き合い方をお教えます。

患者さんのお口のなかで重要な働きをしている仮歯。大事に使っていきましょう！

仮歯で強く噛まないで。

とくに被せ物をつくるための型取り後の仮歯はとても重要。取れたり割れたりしないように、硬いものは避け、軟らかいものを食べるようにしてください。



取れたらすぐに連絡を！

仮歯が取れて1週間もたつと、歯が動いて被せ物が入りにくなります。とくに被せ物をつくるため型取りしたあとの仮歯は超重要。取れたらすぐ歯科医院にご連絡ください！



お掃除はていねいに。

仮歯は、本番の被せ物ほどピタリとは調整されていません。歯ぐきとの境目の小さな段差に汚れが溜まりやすいので、歯みがきはていねいにお願いします。



フロスや楊枝は使わない。

糸が引っかかると仮歯が取れてしまうのでフロスはお休み（審美治療のプロビジョナルレストレーションでは使用が推奨される場合があります）。楊枝もNGです。



くっつくモノはしばらく我慢。

仮歯はきめの粗いプラスチック製。グミやガム、キャラメル、お餅や求肥の和菓子がくっつきやすいです。仮歯が外れる原因になるので食べるのは控えてください。



取れた仮歯は捨てないで。

取れたり割れたりした仮歯はくっつけば使えることもあります。せっかく患者さんに合わせてつくった仮歯。捨てずに受診時にお持ちください。



仮歯で治療中断はトラブルのもと。

白い仮歯が入って「しばらくこれでいいや」と予約のキャンセルをするのはやめましょう。仮歯は軟らかいプラスチック製。汚れたり削れたりするので、長期の使用はむし歯の再発や歯の移動の原因になります。



長く使ってすっかり削れてしまった仮歯。

● column 歯医者泣かせ！型取り後の予約キャンセル

被せ物をつくるための型取りを終え、仮歯が入ると安心してしまふのか、その後キャンセル続きになってしまう患者さんがときどきおられます。仮歯は長期の使用を前提にしないので、使っているうちに徐々に削れて形が変わります。するとそのスペースに歯が移動して、せっかくの被せ物が入らなくなってしまいます。型取り後、1ヵ月くらいのうちには本番の被せ物を入れたいもの。ぜひご協力をお願いします。